

# のーてんき彼氏と悲恋のゴースト

## くカレの命と引き換えに性契約く

### 1…彼とイチヤラブデート…のハズが!? 迷い込んだ洋館

(勇千) あー！やっぱダメだ！

………つたく。夏休み最後のデートだつていうのに、レンタカーが突然ダメになるなんて。俺の普段の行いが悪いのかなあ……ホントごめんな！

確かに、かなりの山奥まで来ちゃったけどレッカー来るまで2時間以上もかかるって。ツいてないよ……

こつち向いて。疲れてない？

クスッ良かった

ね、車でじつとしてるのも退屈だし、ちよつと探検してみない？  
こんな自然のド真んなか散歩できるなんて滅多にないし！ 行こ！

ホラ、手。みぎて。手繋いで歩こ♪

クスッ、ベびちゃんはいつも冷たい手してんなあ  
じゃー本日も、人間カイロのわたくしが

お姫様の手を握って温めてあげましょうね

あれ？さっきこんな分かれ道あつたわけ？ずっと一本道だったよな

うわ、何だ？ 坂の上にすっぱー立派なお屋敷がある……

ここにこんなでっかい屋敷があるなんて聞いた事なかったけど……  
どうやら廃墟みたいだな

ずいぶん雰囲気あるじゃん 肝試しみたいで楽しそう！

ね、行ってみよう？ 様子見るだけ！ お願い！

とか言つてホントは……

イチヤイチヤしながら歩く口実が欲しいただけだよ

ふふふっ、え、良いの!? やった!

え? でも怖い? まあまあ、心配しないで

日も沈んできたし、真っ暗になる前に車戻ろう?

うわあ……だいが昔の西洋館って感じ

長いこと人が踏みいつてないみたいなのに、不思議と綺麗だね  
湧き水が噴水みたいになってる……映画のセットみたいだな

こんな家に住んでたなんて、きっと立派な人だったんだろうね

うわっ急に大雨降ってきた!

走ろう! こっち!

うわー今日、降るなんて一言も言っただけなのに。全身ビシヨ濡れ!  
大丈夫か?

……って、すっげ……。一体いくつ部屋があるんだ?

高そうな家具も全部そのまま放置されてる

うわっ! びっくりした

おいで。俺の傍にいて

俺から絶対離れないで。いい?

この大雨じゃどちみちすべには出ていけない  
勢いが収まるまで少し雨宿りさせてもらおう

てか、うわあ……奥もめちゃくちゃ豪華な部屋が続いてんな

大丈夫、俺がいるよ

わっ!

ごめんごめん! びっくりした?

アハハハ、本気で驚いてるじゃん!

だってー、怖がつてんの可愛いんだもん

必死で俺の腕にしがみついているから、ずーっとオッパイ当たってるし、

はははっ!

でもホラ、これでもう怖くなくなったでしょ?

ふふっ良かった

夏の終わりに2人つきりで  
こんなスリリングな思い出作れるなんて……  
最高だと思わない？  
俺は最高。ん……

ねえ、ちゅーしょ

ね、好き。ずーっと大好き  
もう一回チュー♪

あ、ねー、ちゃんとコッチ見てよ、なんでよそ見し――

えっ何それ？ 綺麗なオブジェがついたオルゴール……  
そんなのいつの間に見つけたの？ まだ動くかな？

ちゃんと動くみたいだけど、何だかちよつと寂しい曲だね

あれっ？ カップルの写真…… この家の主人と奥さんかな？

2人とも容姿端麗ようしたんれいって感じ……

わっ！ なんだい

(一徹) ここへ勝手に足を踏み入れた者がどうなるか……わかって来たんだろうな？

(勇千) ア、アンタ、誰だい？ 彼女から離れろ！

(一徹) うるやい！！

(一徹) この場を踏み荒らした事  
小僧もろとも必ず後悔することになるぞ……

(勇千) 逃げようー早くー振り向くなー！

## 2. 彼の命と引き換えに……ゴーストの要求

(勇千)

もしもし。ああ、良かった。起きてるうちに電話間に合って！  
もう寝る準備できた？ ちゃんとベッド入ってる？ うん。そっか

ふっ

こないだあんな事があつたばっかだし、

本当は毎日べびちゃんのとこ行きたいのに、

今日も会いに行けなくてほんとゴメン

電話の声だけでも聞けてよかった。明日は、早めに仕事終わってそっち行くな

(勇千)

んっ？オルゴールの音……？ああ、あの時焦って持って帰ってきたやつが  
大丈夫、約束忘れてないよ。今度ちゃんと2人で謝りながら返しに行こう  
でも……何だかすっかりべびちゃんのお気に入りになっちゃったね  
もー、そのままもうっちゃえぼ？

フッフツはいはい、ダメですね。戻しにいきましょうね

ふっ 遅くに電話してゴメンね。声が聞けて安心した  
ゆっくり休んでね。また明日いっぱい話そ

それじゃ、おやすみのチューして♪ 早くっ

フフフン、俺のチューも欲しい？

……明日に取っとくからダメー♪

アハハハ、ズルくないよべびちゃんがちゃんとして今夜も俺の夢見てくれるよう  
に！

クレバーな僕の作戦ってとっ♪

クスクスクス怒ってないでちゃんと寝なよ？おやすみッ！

化け物屋敷から物を盗むとどうなるか、こ存じかな？お嬢さん  
動こうとしても無駄だ

(一徹)

フツ いくら逃げようとしても

お前はもう、手も足も、指先ひとつ動かせない  
叫びたくても、かすれ声しか出せないだろう？

ハハハッ、何だ？お前、その様子じゃあ初めてか？  
化け物に、金縛りされるのは？

フッ

動けない体を……

馬乗りで好き放題にされる気分はどうだ？

クスッ諦めの悪い女だな。そうやってものがけばもがく程

全身から力が奪われて……頭までボーッとしてくるというのに

フッ、活きの良いじゃじゃ馬だ。腕や脚に力を込めれば込めた分

筋力も気力もどんどん抜けて……

が泥のように地面へ沈み込んでいく

けど……なぜか気持ちイイ

そうだろう？

吐息が荒ぶる程……私の体にしみ込んだ淫靡なお香の香りが

鼻から脳に充満して……理性を溶かし、本能を呼び起こすんだ

フッ、どうした。得体のしれない快感に襲われて……不安に震えているのか

5

クススクスッ

私が怖いのか？

まさか、化け物が名乗ってから襲いにくると思ってた訳じゃあるまい

安心しろ。こうして私の声と香りがお前の中に充満するにつれて

ふわーっと脱力して……

ほら……。もう……。何もかもどうでもいって気分になってくるだろう？

フフッ、何も怖がることは無い

「死はいつも理不尽に訪れる」これが摂理。お前にはそれが今来ただけの事だ

恐ろしさも……じきに忘れる

お前はただなすがまま、大人しく身体を開いていれば……

この私が世界一気持ちよく逝かせてやろう

何だ、お前まだ動けるのか もう……そんな力はないハズ——ん、

聞きたいこと？ 私に？

なぜ……そんなに悲しそうなのか……だど？

フッ、悲しいはずがないだろう 何を言い出す——

今も、写真と同じ悲しい顔をしてる……？

お前――

うるさい！黙れ

まあいい、気に入った。お前をとり殺すのはやめて今宵は少し遊んでやろう  
どうせ……こんなしぶとい女を手にかけるより、あの能天気な小僧を手にかける  
方がずいぶんと楽そうだ

おっと……何、心配するな

とり殺すのは小僧だけにしてやる。その代わり……

お前には特別……この世の天国を見せてやろうって言ってるんだ

お前も十二分に楽しみめ

まずはお姫様に……熱いキスのご挨拶を

フツ、どつした？ そんなに呆けた顔をして？

化け物の体内がこんなに熱いとは知らなかったか

百年もの間 地獄の業火<sup>じごく</sup>に焼かれ続ける魂が、私のハラワタを燃やしているん

だよ

んん……

もつと舌を出してごらん？

脳まで溶けだしそんな快感を直接送り込んでやろう

もつと……もつとだ

お前の舌を動かして……私の熱に応えるんだ

ハアッ……

このまま……私の指を咥えてごらん

そう、いい子だ

長い孤独と虚無にひたつて凍えた指先は……

舌と違って、真冬のつららのように冷たいだろう？

お前の口で……

小さい子供のように、チューチュー吸って奉仕するんだ

訳も分からぬまま熱に浮かされ従順に奉仕する姿……いじらしくて、可愛く  
て……

ますます泣かせたくなるなあ？

戯れはここまでだ。服を脱がして……体中直にもてあそんであげようかな？

フフツ、恐怖と快感に濡れた女の体は美しい  
お前の体をいたぶりながら……隅々までじっくりと鑑賞してやるぞ

この指先……いくらお前の熱い口内でねぶられようとも  
氷のように凍えたままだ

こうして……お前の喉元をなぞると  
まるで刀の切っ先を突きつけられているようだろう？  
なの……

こっちは燃えるように熱い舌でしゃぶられる

この、救いようもなく冷えた体と煮えたぎるハラワタの熱で  
体がバラバラになりそうな最高の快感を……  
お前の肌に直に叩き込んでやるかな？(耳ナメ)

両手を上にあげて……

首から……わきの下も

鳥の羽でスーッと撫でるように

フツ、動けない体がピクピク反応しているぞ

乳房も……ゆっくり円を描くように全体をなぞって……  
触れるか触れないかの加減でなぶられる

まだ触れてもいない乳首が……

こんなに硬く立ち上がったも  
周りをクルクル刺激されるだけで……肝心な場所は全然触ってもらえない

もどかしいなあ？苦しいなあ？

指が乳首を通り過ぎて、脇腹へ行ってしまったなあ？

くすぐたくて……動けなくて……

全ての感覚が……無防備な体を這いまわる私の指先に嫌でも集まってしまっ  
放っておかれた方の乳首も、固く勃起上がったままジンジンしっ放し

この熟れた果実、私の口で存分にナメしゃぶってやろう

ハハハッ感覚が研ぎ澄まされた乳首を、熱い舌でこね回される気分はどうだ？

反対側は……甘噛みしながら舌先で転がしてやろうか？

フフッまだ始まったばかりだというのに、すっかり溶けた顔をして……  
お前は可愛い女だな

この指、次はどこへ行くと思う？

フフッ良い表情だ。不安と期待がごちゃ混ぜになった顔  
そんな顔見せられると、男はもっと虐めてやりたくなるんだよ

フフッ、そんなに期待してくれてたのか？  
お前の中心で……熱く膨れたクリトリスが  
すでにグッチュグチュに濡れながら待っているぞ

ここを、氷のような指先でコリコリ転がしてやろうな

ハハハッ、散々焦らされた後に、体の中で一番敏感な突起を  
ただそこだけクリクリこね回されるのはたまらないだろう？  
体中の感覚が、その一点に集まって……  
高ぶりきった熱を、好き放題にもてあそばれる

だが、簡単にイカせはしない  
甘い吐息とその声……もっと聴かせてみせろ

ココだけじゃ辛いな？ もっとして欲しいなあ？  
自分の口でねだって見せろ

乳首もクリもマ○コの中も……全部グチャグチャにしてイカせてくださいって

ホラ、早く！

——ん、何？

何でもするから……自分を身代わりに、彼だけは助けて欲しい？

何だそれは？ 偉そうなことを抜かすな  
自分の命と体で交渉しようというのか

お前を危険にさらし、このような結末を招いたのはあの男だぞ  
それでも小僧を見逃せというのか？



ハアッ！ お前のような女が一番いけ好かない  
この私に指図しようとするなら、相応の代償は払ってもらうぞ

化け物に魂を売る覚悟がお前にあるのか？

フツ、よからう。ならば、お前の命をもろうまでに あとひと月やる

あの能天気小僧を見逃す代わりに、ひと月の間 お前の体を私に差し出せ  
役目を全うできたら、小僧だけは助けてやる

お前の命はその時もらうていつ

いいんだな？

フツ お前、やはり面白い女だな

それじゃあ見せてもらおうか？ 命を差し出すお前の覚悟を

脚を開け マ〇口も両手でしっかり開くんた

きちんと見せろよ？ 私を満足させたいんだろ？

お前……まだ震えてるのか

そう怯えるな

大丈夫だ。お前を傷つけたりしない、ただ私に体を預けてくれるだけでいい

お前の体、隅々まで確かめさせて

フツ、怯えた顔をしていても……ここはしっかり濡れてるようだな

舌で綺麗に拭ってやろう

誰が手を離していいといった？ 良いというまできちんと開いてろ

はあ……ッどんなにすり取っても溢れてくる

これじゃいつまでもやめられないぞ？

はあ……ッ

中がどうなっているか確かめてやる  
もし両手を離したら……契約は破棄するぞ

ハアッ……

熱くて、トロトロに熟れた音……お前にも聞こえるだろう？

何だそんなに締め付けて。感じないように耐えてるのか？

可愛い女だ

そんなことしたら、ギューギューに締まった中で……こうして力強く動かされて

余計に快感を強めるだけだというのに

クスクスッそうだ。お前はただただそうして感じている  
ねじ込まれた指の動きが直接頭に響いて

脳の中までかき回されて、快感でとろけそうになるだろう？

そうだ、従順に鳴け。そしてもっとその可愛い声を聴かせて？

イケバイクほど感度が良くなる、私とどんどん繋がりが合う……  
魂まで一体化して……

なんだ、抵抗する気か？ 命乞いなら後でたっぷり聞いてや——ん？  
まだ手が、ずつと冷たい？

ああ……？ さっきも話したろう。血が通っていないんだから当然だ

ん、あ、ただ手を……握って温めようとしてくれた……のか

フツ、無理だ。いくらお前の手で握ろうとも、私の体温は変わらない

ほら……

こうしてお前の 真っ赤に染まった頬に手をやると……

クスッ、な？ 氷枕のようで気持ちいいだろう

ん、やつと笑った……？

そんな優しい顔、見れると思わなかった……

お前は……本当に……

うんっ

私を……どこまでも苛立たせる女だ

お前の口から出るのは喘ぎ声だけでいい！

ほら……私のモノに触れてみろ

ココはまるで生きているかのようなたぎりだろう？

ここからはもう手加減しない。減らず口ひとつ叩けぬよう、責め倒してやるよ  
腹の奥まで貫いてやるから、大人しく脚を開いて……私を受け入れろ！

亡霊に犯されるとはどういう事か……分かるか？

私の魂そのものを受け入れて……んっ

ハアッ……杭打たれる

魂で繋がりが合うまぐわいは……生身の人間とするより何倍も気持ちイイ  
人間の男のことなど忘れてしまっほど感じさせてやる

フツどっした？

私にイカされるのは嫌か？ 魂までが犯されるのが怖いのか？

身も心も私の物になるのが怖いのか

お前の考えている事は、言葉にせずとも手に取るように分かる

抗うな。もつと、イけ。もつと感じろ

何もかも忘れて私の事だけ考えろ

私に与えられる衝撃で……ただただ身悶えていればいい

んん……ハアッ、もつとお前の声を……聴かせて

お前は何も悪くない 愛する男の為に……ハアッ

私の言いなりになってるだけ。そうだろう？

だから……ハアッ……今は私の為だけに鳴いている

ずっと半開きの口も……私のモノにしてやりたい  
ん……

私の事はただの幻想と思ってくれていい。だから……

だからもう……私を恐れないで。ハアッ……んんっ

絶対に……傷つけたりしない。さっき、お前と約束したんだ

約束は……守る

もつと深くで……私を受け入れてくれ

ああ……そんなに締め付けたら……私も、もう……ッ

ハアッ……ハアッ、ダメだ……んんッ

もう、我慢できない

お前の中に……全てを、全てぶちまけさせて

んん……あつ、ハアッ……ハッ、イク、イクぞ、出る……

腹の底まで突き入れて……私の子種で満たしてやる……！

※発射

覚えておけ……

こうしてお前の中に注ぐ度、私たちは一つになっていくんだ  
体を重ねるほどに……お前がイク度に

私たちの仲は深まる……

何人にも……引きはがせぬほどにな……  
なんびと

### 3、あれはただの怖い夢？彼と久々にお家デート&ラブラブH

(勇千)

べびちゃんーただいまー！

「今日だけは今日だけは今日だけは……」って、  
めちゃくちゃ仕事頑張って、ぶっ飛んで帰ってきたよ。偉い？褒めて！

ふふん♪

ね、喜んで。全然会えてなかったし、明日は代休もらっちゃった♪  
久々に、ずっと一緒にいられるよ

ね、ちよつとだけお料理の手止めて

いい匂いでメチャクチャお腹空いてきたけど……

もつと違う方のお腹が

我慢できないくらい空いてる

ねえ、お願い

んっ……

今日の俺は……ハアツ、お預けくらったライオン状態なの  
会えない間、電話の不安そうな声だけ聞いて……たまんなくなってた  
今すぐべびちゃんが欲しい

エプロンも洋服も今はいらなから脱がせちゃうよ

早くべびちゃんを味わわせて

ん……

キッチンじゃ嫌？どうして？

自分だってもうこんなに……息荒くしてる癖に

そんな顔で嫌って言われたら……余計に興奮する

寂しかった 会いたかった

会えない間、怖い夢ばかり見てた

べびちゃんが傍にいてくれないと、俺もう……、無理みたい  
もっとキス、して

ふふっ、明るいキッチンで……俺に素っ裸にされてるべびちゃん

恥ずかしそうにしてんの可愛くて……止まなくなりそう  
もって意地悪な事したくなるよ

こうして……首元に吸い付いて……

俺のマークたくさんつけたいよ

ダメ？どうして？ 見えるから？

見えるからいいんじゃない。みんなに分かるように……真っ赤なマークつけて  
俺だけの物……ってマーキングしたい

べびちゃんの事、独り占めしたいよ

んーじゃあ……柔らかいオッパイ……こっちはちゃんと  
俺のマークつけてあげる

反対側も……

ね、乳首はどっして欲しい？

しゃぶって欲しいそうにゴロンッとしてるよ

べびちゃんって、「ゴロン……」こんな風に摘まんでクリクリされると……  
すぐアソコがべっしより濡れちゃうんだよね

でも……指で摘まむだけじゃ足りないでしょう？

今度はお口でチュプチュプしてあげる

ふふっ気持ちいい？ いいよ。声 我慢しないでいっぱい聞かせて

反対側も……

どんどんエッチな顔になってきた

べびちゃんの気持ちいい所、全部知りたいよ。

もっともっと……俺にだけ教えて

こうして両手を頭の上にあげて……っつと。そう

恥ずかしくなんかないよ、そのま・ま

べびちゃん……すごくセクシーだよ

無防備なワキもこうして……

ダメだよ暴れないで、ちゃんとして  
そんなポーズで悶えてんの、超エッチだよ。自分で分かってる？

べびちゃんの体は、全部知り尽くしたいの。わかるでしょ  
反対側のワキも……舌でレロレロしてあげる

敏感な脇腹も……  
可愛いおへそも……

ん？ペロペロしてるのワンちゃんみたい？ ふふっ、そうだよ  
俺はべびちゃんの忠実な犬だよ  
ご主人様が大好きな忠犬

ハイ、じゃー今度は後ろ向いて。壁に手ついて立って  
ちよつとだけ脚開いて  
オマ○コがどうなってるかチェックさせて

ふふふつまめだよ、ちゃんと脚開いて立って  
べびちゃんはホントに照れ屋さんだなあ

ん……しよつと。脚閉じれないように、俺の脚を股の間に入れて……と。  
こつやつて後ろからガッチリ抱きしめて……  
オッパイ揉みながら……んっ  
グチュグチュマ○コ触ってあげる

フツツ立つてられない？ 脚ガクガクさせて……可愛い  
まだ、ちよつとクリトリスいじっただけなのに……  
全身力抜けて腰砕け？  
いいの？そんなんじゃ……もつと俺に好き放題されちゃうよ？

次は、指、中に入れるよ？ 今度はちゃんと立っててね？

フツツまだ指入れたただけなのに、そんな腰砕けでお尻突き出してたら……  
可愛いお尻、かぶりつきたくなっちゃうよ

ふふっすごいよ、マ○コの中がピクンピクンて反応するの可愛い  
お尻も感じちゃうの？ 全身性感帯みたい  
こんな風にお尻のほっぺ広げると……お尻の穴も丸見えだよ  
キユツてすばまって可愛い  
そいじゃ、「コ」も……

ふふふっ恥ずかしいの？ やだ？

フツ、俺の性格知ってるくせに

そんなこと言われたらもつとしたくなっちゃうって

力抜いて？ ギュッてしたら舌が入らないでしょ？

ん、ハアッ……。 変態？ 今更？

フフフツ、知らなかったの？

自分の彼氏が変態だった？

俺は昔から……。ベビちゃんフリークのド変態だったよ

そういうベビちゃんも……。オマ○コの方からどんどん蜜が溢れてくるよ  
ド変態(勇千)にド変態プレイされて感じちゃった？

……。ベビちゃんのエッチ♪

ふふっ、じゃあ……。俺の口で、

グシヨグシヨのお漏らしマ○コ綺麗にしてあげるね

凄い……。ハアッ……。ねえ、せっかく綺麗にしてあげるって言ってるのに  
さっきより余計にグッチュグチュになつてきちゃったよ

困ったなあ、それじゃあまずはクリの方を舌でお掃除してあげるね

フフフッダメだなあ、後から後からエッチな液が出てくる

もっとちゃんと脚開いて？ 中まで舌突っ込んで

綺麗に吸い取ってあげるから

でもそろそろベビちゃん立ってるの限界だね。ベッド行こうか  
そのまま俺につかまって

ねえ、こっち向いて？ キス、して？

会えて嬉しい。今日はずっと離したくない

さっきまでは、後ろ向きでずっと顔が見えなかったから  
今度は正面で抱っこしながらしたい

ねえ、好き？ 好きって言うって……

俺が何でもしてあげる

ベビちゃんの願いは……。俺が何でも叶えてあげる

フフフツ、ココ、中までグッチュグチュで……

トロけそうなくらい熱くて準備万端だね



ねえ、俺……我慢できなくなっちゃった  
べびちゃんの中に入りたい……いい？お願い  
べびちゃんももう我慢できないでしょ？

早く一つになりたい……はあ……ッ、いくよ、挿れ……るよ……ッ

んんっ、ハアッ……。あつ、ハアッ……。キッ……

中……狭くて、熱くて……俺の形、ギュッて握って確かめられてるみたい  
動くよ、……んんッ！

べびちゃん、大好き。愛してる

べびちゃんを、俺でグチャグチャにしたい

可愛い……そのトロンとした顔、エロすぎ。ねえ、もつと声出して  
ここが気持ちいいんでしょう？ 我慢しないで

もつと感じてる顔、見せて

ね、べびちゃん。俺の名前呼んで？ 勇千つて

その声が……ハアッ……好きなんだ……んんッ

いっぱいイカせてあげるから、感じながら俺の名前呼んで

ハアッ……ハアッ、もつと言って

べびちゃんの声で……べびちゃんの体で……俺の頭ん中いっぱいにして

大好き。愛してる。べびちゃん以外いない

だからどこにも行かないで

あ……ッ、そんな締められたら、俺……出ちやいそうだよ

もつと繋がってたいのに……ヤバイ、気持ちいい……んんっ！

ハアッ、ハアッ……もう、限……界ッ

出してもいい？ べびちゃんの中に……ッ

俺の全部受け止めて

べびちゃんも、一緒にイッて？ ハアッ……ああっ

イクよ、べびちゃんの中に出すよ……ハアッ……ああっ

※発射

愛してるっ！

フッフッ

べびちゃん。目が潤んで、すっごく可愛い顔してる

ご飯の用意、後は俺がするよ

一緒にお夕飯食べたら、ちよつとゆっくりして……

お風呂でまたシようっ？

クスクスッ、え？　へっへっになっちゃうっ？

ダメだよ、だってお風呂終わったらベッドでまたイチヤイチヤするよ？  
ん……っ

今日は寝かさないもん。覚悟してねっ

#### 4、彼が隣で寝てるのに…エスカレートする行為

(勇千) んん……んーべびちゃん……むにやむにや

(一徹) 随分と楽しそうな遊びをしていたようだな？

シー……ッ！ 暴れると小僧が起きてしまうぞ？

情事の痕跡が残った体で、服もまとわず裸で眠るなど……私を挑発してるんだろ？

盛ったオス犬に全身くまなく舐められて

尻の穴まで広げられながら喘いでたなあ？

それも……恋人に隠れて、悪魔を飼う部屋の中で

据え膳食わぬは化け物の恥

ぜひ私も混ぜてもらおうとしようか

フッフッ……今はやめて？

フツ、まだ状況が理解できてないようだ

化け物にそんな道理が通ると思うのか？

下手に抵抗すれば、小僧が目を覚ましてしまうぞ？

それに……そんな台詞を吐かれたら

余計に燃えるのが男の性だろう？

ハアッ……お前は何も分かってないな

一晩中、あんな姿を目の前で見せられた私が……

どれだけの衝動を抑えていたと思う？

小僧が隣でのんきに寝ている今だからこそ

この手でお前を鳴かせたいと言ってるんだよ

安心しろ。小僧に私の声は聞こえていない

あの犬が全身につけた噛み跡に……私の印をかぶせてやろう  
丁寧……一つずつ

あの小僧にされたことをなぞりながら、記憶まで上塗りして……  
お前の魂と体が、今は誰の物になったのか  
体に教えこんでやろうな

ん？ 拒むのか？　じゃあどうするっ？

私は今すぐ隣の小僧の命を吸い取ってやってもいいんだぞ

考えを改めるなら大人しく力を抜け

フッそれでいい

無駄な時間をかければかけるほど、小僧が起きる時間が迫るだけだからな  
あ？

まずはどうされてたっけ？

首筋に……こんな風に舌がはい回って

ワキまでジウルジウルとしゃぶり回されて……

おい、ちゃんと両手を上げていろ。分かってるだろう？

胸もこうして……揉みしだきながら吸い付かれて

乳首もチュプチュプ舌でもてあそばれていたよなあ？

この……犬っころがつけた胸元の赤い跡に、私の噛み跡をかぶせてやるよ

2人の男から一晩中食らいつかれる気分はどうだ？

反対側にもちゃんとつけてやろううな？

お前の柔らかい肌に、真っ赤な血の花を咲かせてくのは  
最高に興奮するよ

だが私はこの小僧のように、乱暴に食らいついたりはしない  
ねっとりと追いつめて……堕とす

自力では這い上がれない場所までな

小僧を起こさぬように静かにうつぶせになって、尻を突き出せ  
どうした、早く尻を突きあげろ

小僧の前では やっていただろうー！

そっだ、いい子だ

そのまま両手で割れ目を開け

今から……前の穴も尻の穴も目いっぱい広げて、私の舌で  
隅々まで愛撫されるんだよ

もし躊躇するなら容赦しない

契約を持ち掛けたのはお前の方だ。約束が守れないなら分かっているな？

フッフッそうだ、賢い子だな

フッフッ、良い眺めだ。お前も興奮してるんだろう？

あふれ出てくる蜜の雫も、ヒクヒク震える尻の穴もよく見えてる  
まずは……四つん這いで突き上げた尻に

小僧と同じようにかぶりついて楽しむとしようか

フッフッまだ何も始まってないというのに

そんなにビクビク反応してどうする

さつきは……尻の穴までナメられて随分感じていたな？

恥ずかしいのが好きなのか？

フッフッ、それなら私も存分に辱めてやるから、両手でしっかり尻を開いてろ

おい、誰が動いていいといった？

恋人の命を助けたければ、きちんと尻を突き出して両手で穴を広げてろ

2人の男に……

こんな場所まで舌をねじ込まれて興奮してるのか？

おい、さつきはあんなにあられもなく声を上げてたのに  
私の時はだんまりか？

前の穴ももうこんなにグッシヨリ涎たらしてるぞ

期待でぷっくりと膨らんだクリトリスを  
小僧の目の前で存分に味わってやろうな

フッフッ、そうやって枕に顔をうずめて

意地でも声を上げないつもりか？

お前がその気なら……、私も今夜はどんなに泣き言を言われようが容赦しな  
い

お前の心が小僧の物なら……体だけは私の物にしてやる

フッフッ、声より何より、これ

凄い濡らしようだなあ そんなに興奮してるのか？  
それともさっきもこんなに濡らしたのか？

必死に声を抑えているようだが……こんなに濡れた水音を部屋中に響かせて  
体をガクガク震わせてれば、大声を出しても大差あるまい？

勃起しきったクリをねぶり続けながら  
膣の中の弱い所も、指で同時にかき回すのはどうだ？

共に生きられないのなら……せめて記憶を私で一杯にしてやる  
記憶の中でしか傍にいられないなら  
今は何度でもお前の前に現れて……全てを私で上書きしてやる

(勇千)  
うう……ん、なに、何の音……？べびちゃんコッチ……むにやむにや  
(寝息4秒)

(一徹)  
よそ見をするな、放っておけ  
今は私の事だけ感じている

私の指を咥え込みながら、他の男を気にする余裕があるとは  
まだまだ責めがいがあるなあ？

(勇千)  
うう……ん、べびちゃんどこ？モゾモゾしてどうしたの……  
まだ真っ暗……目覚まし鳴ってないよ、もう少し……むにやむにや  
(寝息4秒)

(一徹)  
小僧が起きようがイクまでやめないぞ  
あられもない姿を見せたくなければ……  
大人しく私に体内をかき回されて、イケ  
ホラ、イケよ  
……イケ！

ハアッ……ああっ、中が……ビクビク震えて、締まる……ッ  
フツ、最後まで声を我慢して偉かったな  
おいで、もうこつちを向いていい  
フツ、そんな泣きそうな顔で耐えてたのか

でも、背徳感と快感でグチャグチャになったお前の顔が……ッ  
健気で煽情的で、最高に可愛いんだよ

目を開けて

誰とこうしてるのか、ちゃんと私を確かめて私の全てが幻だとしても……

この幻を……、どうかお前の体に刻み付けてくれ

お前、好きな男の前で犯されるのは嫌か？

それならば、私の前で……命じた通りに自慰をしろきちんと私を楽しませたら、今日の所は許してやる

そのグチュグチュに濡らした下半身を

自分でイジりながらイク所を、私に見せるんだよ化け物相手なら何も気にしなくて済むだろう？

私は……

お前の隣で全身を鑑賞していてやる。ホラ……早く私を満足させないと犯されてしまうぞ？

フツ、いい子だ

まずは足を開いて、さっきまで私に好き放題ナメ回されていた割れ目を広げろ<sup>3</sup>

そこはどっとなってる？

自分の指で優しく触れて確かめてみる

溢れだす蜜と私の唾液でいやらしく濡れて……

指を動かす度にクチュクチュ音が鳴るだろう

2人の男から一晩中イジられっ放しで、すっかり熟れたクリトリスも……

私たちの体液が入り混じった淫靡な蜜を塗り付けて……クリクリこねてごらん？

もし勝手に手を止めたりしたら……すぐに私のをねじ込むぞ

フツ、お前は利口でいい子だな

乳首も……自分の指で好きなように転がしてみろ

体中の敏感な突起を……自分で虐めて悶える姿を

私にじっくり見せるんだ

はあ……ッ、ハッとしてずっと密着していると、私の体に染み付いた妖しい香の香りが

呼吸の度に鼻腔を這って、脳に充満するだろう？

そのままゆっくり鼻から呼吸を続けながら  
グチュグチュに熱く溶けたヒダと、その中も  
自分の気持ちいいように触ってごらん

自分の気持ちいい場所、わかるだろう？

中にもクリにも、快感を叩き込み続けるんだよ

フツッそんなに切ない顔をして。気持ちいいなあ？

もう、声が我慢できそうにないのか？

なら私が塞いでいてやろう

快感と背徳感で呼吸が早まって……

私の声……私の香り……全てがお前の脳裏に焼き付いて  
理性を溶かして、本能を掘り起こす

隣で眠っている恋人の匂いすらかき消されて……こうして唇を合わせる度に、  
体中の感覚を私に奪われていくんだ

おい。イキそうになっても手を休めるなよ？

恋人の命を救いたければ……全てを私に晒しながら何度でもイクんだ  
できるだろう？

恋人の横で犯されたくないなら、手を動かし続けて

何度でも私にやらしいイキ顔を見せるんだよ

もう許して欲しい？ ふっ、呆けた顔で懇願して……

……んッ、お前は……その顔が男を煽るのがわからないのか？

本当はお前の可愛い鳴き声を聴かせて欲しい

だが、そうして必死にアエギをこらえて快楽をむさぼるお前の姿も……  
たまらなくそそられる

ハア……

もっと……もっと気持ち良くなって



ホラ、クチュックチュツて卑猥な音が自分でも聞こえるだろう？

小僧には跡をつけさせなかったこの首元に

もし私が真つ赤な印をつけたなら……

お前は、鏡を見る度、誰かと話す度……私を思い出してくれるか？

なあ、教えて

どうか……思い出すと言って

この身がただの幻だとしても、貴女といった印を刻ませて欲しいんだ  
ん……

ハアッ……首元に、真つ赤な私の印が付いたよ

この卑怯な悪魔の腕の中で、もう一度イッて見せて

ん……まだ足りない。もっと私の胸の中で乱れて  
快感で何もかも忘れてしまってくらいに……

キスで口を塞いでいる間に、もう一度

私の胸の中で……イッて……んッ、ハアッ……んんッ

……んッ、ハアッ……ハアッ……

お、おい、大丈夫か？

はあ……ッ、意識を手放す程……無理をさせてたのか

フッ、こんな卑怯な化け物になり下がった私を、どうか……

どうか、許して……

## 5、人生最期の日にも執拗に…電車で襲われ略奪SEX

(一徹)

今日は、出かけてはダメだ 大人しくここにいろ

今日が人生最期の日なら、彼と一緒にいたい？

ならここに呼べば良いだろう なぜ出けなきゃダメなんだ？

家にいたら酷いされる……って、それはーその……

と、とにかく、悪い事は言わない。今日は電車に乗ってはいけない

何だこれは？

盛り塩に……大量のお札……。フー……ッ

こんな子供騙しで私を家に閉じ込めようというのか

待て！

頼む、今日だけでいいから言う事をきいてくれ！ 私の傍にいろ！

どうせ死ぬなら、私の傍になどいたくない？

気味が悪いから、付きまとうな……

……ッ。どうしても……行くのか？

※場面遷移

(勇千)

あつべびちゃん！こつちこつち！

こないだは車で大変な目に遭ったからね。今日は電車でおでかけしよ

わー結構混んでるなあ。大丈夫？ こつちおいで

全然座れそうにないなー。あ、真ん中の方は空いてるみたい。並んで捕まろ  
べびちゃん、今日は何かあった？

急にどうしても遠出して2人の思い出のレストランに行きたいなんて言うから  
何かあったのかなーって思っ

俺の顔見て？

心配事、一人で抱えてないよな？

クスッ、大丈夫な？ じゃー今日はデート目一杯楽しも♪

(一徹)

うらめしや

わざわざこんなところまで追いかけて何しに来たと思う？

フツ、あれほど忠告したのに、ふざけた真似で私を愚弄したのはお前だからな後悔させてやる

ひと月の間、何度も繋がっては快楽を教え込んだその体  
公衆の面前で……小僧の真横で、イカセまくって「天国」へ送ってやるよ  
両手でつり革を掴んだまま……普段よりキツめに金縛りだ

フツッ、騒ぎたければ騒げばいい

それとも、隣の小僧に訳を話して助けてもらうか？

フフツツ訴えたところで誰も……お前の服の中に化け物が入りこんで  
体をまさぐっているとは思っまい

フフツツ、私に調教されつくしたこの体

こんな状況でも、私に密着されて……

耳元で囁かれただけで……

私の匂いを嗅ぐだけで……

すぐに熱くなってしまう。そうだろう？

無防備な胸を……こうして後ろから強引に揉まれて

乳首をこんな風に指先で引っ張られたり……

爪の先でカリカリ引つかかれたり……

首筋にしゃぶりつかれながら突然押し潰されても……

勝手に体が反応してしまう

(勇千)

べびちゃん、ちょっと顔が赤いよ、大丈夫？

満員電車、気分悪くなっちゃった？

(一徹)

フフツツ、小僧が呼んでるぞ？

他の男に乳房を責められて上気した顔、見せてやれよ？

(勇千)

うーん、熱は無さそうだけど。平気？

そっか。でも、具合が悪い時はすぐに教えてな？

(一徹)

相も変わらず、お前の体は素直で可愛いなあ

そんなにビクビク動いてどうしたんだ？

(一徹) フツまさか、もうアソコから涎よだれを垂らして欲しがっている訳じゃあるまいな？

そろそろ触って確かめて欲しいだろう？

フツッ、やはり……どこまでも快楽に従順な体だ

まだ乳首しかイジッてないというのにどうしたこの水音は？

いつもよりドロドロに溢れてきているぞ？

多くの人間の中で、小僧に見られながら責められて興奮したか？

お前の、敏感に育ったクリトリスに

ドロドロの愛液を塗り付けてイジくり回したら面白そうだなあ？  
試してみようか？

フフツッ、これだけきつく金縛りしてるのに、腰がピクンピクン動いてる

いいのか？ 電車の振動で紛れると思って油断すれば

小僧にも周囲にも勘づかれてしまうぞ？

(勇千) ベびちゃん、どうした？ やっぱりちよつと様子が変だよ

汗もかいてるみたいだし……本当に大丈夫？

(一徹) フツッ、こんなに愛液漏らしてたら、水音で気づかれてしまうかもな？

(勇千) ベびちゃん？聞いている？こっち向いてごらん？

(一徹) フツ、面白い。ぬめった指でクリトリスはじき続けてやるから

お前は小僧の顔でも見つめて悶えてろ

(勇千) どうしたの？そんな顔して。少し疲れちゃった？ 具合悪い？

最近あんまり眠れてなさそうだったしなあ 少し無理してたんじゃない？

(一徹) 違うよなあ？ただのイキ顔だよなあ？フフツッ

クリだけじゃ足りない涎を垂らしてる「」

グッシヨリ濡れた腠内に、指を突っ込んでかき回してやろう

(勇千) 久々の遠出し……この混雑の中ずっと立ちっぱだもんな

このまま乗ってて平気そう？少し降りて休憩しようか？

(一徹) 降りると言うんだ。今すぐ。ほろ……！

もうとつくに、立っているのがやつの状態だろう？  
脚がガクガク震えてるぞ

つまらない意地は捨てろ、小僧にバレてもいいのか？

(勇千)

ん？大丈夫？ ホントにホント？ クスッ、なら良かった  
まーあと何分かで着くもんな。もう少しの辛抱だから、着いたらお店で休憩し  
よな

(一徹)

私の忠告は何としても無視するつもりだな  
ならばもう……私も手加減しない。好きにやらせてもらう

お前……指と一緒に舌で犯されるのが大好きだったよなあ？

中の一番弱い場所を指で擦り上げながら、

脚の間に顔をうずめてしゃぶり回してやるから、せいぜいしっかり立っている

フツ、後から後から蜜が溢れて溺れてしまいそうだよ

そんなに興奮してるのか？ 恋人の隣でここを容赦なく吸われるのは？

フフツ泣きそうな顔でこちらを見てもダメだ、まだまだ許さない

ああ、それともつと

クリトリスを重点的に転がして欲しいというオネダリか？

中も、私の指にキューキュー食らいついてきて……フツ

イキそうなんだろ？ホラ、イケ。イケよ

んッ、ハアッ……よく声を我慢したなあ？

でもまだ駄目だ もっとイクんだ ホラ

んんんッ、ハアッ……

何度イカされても声が出せなくて苦しいなあ？

だが、これも全部

隣のほほんとゲームに夢中になっている恋人を守る為だもんなあ？

恋人の為なら……まともに立っていられないくらいイキまかった今からでも  
まだ頑張れるな？

恋人の隣で後ろから犯しまくって……言葉の通り、死ぬ程気持ち良くしてやる  
一気にいくぞ！……んんッ！

ああ……ッ、う、あ……ッ。ハアツ……

嫌がってた割には……私のモノに絡みついて離そうとしないぞ

狭くて……熱くて、お前の中で魂ごと溶かされそうだ

フツ、ちゃんと声を我慢して偉いな？

だが……ここからが本番だ……ッ

ハアツ……イキそうなのか？

こんなに素直に欲しがってくれるとは嬉しいよ

気を抜けば全部を持っていかれそうなほど、良く……締まる……ッ！

イケ。ほら、イケよ

フツ、何だ？ もう立ってられない？

声を我慢するだけで精一杯か

恋人を守る為に……泣きそうな顔で喘ぎを堪えるお前は可愛いなあ

すっかり……ハアツ、癖になっちゃったよ……ハアツ

愛おしくて、食べてしまいたい

だがな、どうせもうすぐ全て消え失せるんだ

人生最期の瞬間くらい、何もかも手放してイキまくれよ

フツ、脚がガクガク震えてるな。もうそろそろ限界か？

だが……、まだ宴は始まったばかり

これしきで許してもらええると思うなよ

泣き言は許さない……ッ

どんなに許しを懇願しても

容赦なく突きまくってやる

悪魔と契約するとは……んんッ、こういう事だ……ッ

私のたぎりを突き込む毎に……ハアツ

体中の感覚をとがらせて……快感をどんどん上げてやる

イケ……イケ……ッ

んんッ、そんなに喰らいつかれたら

私も……ッ、ハアツ……持たなくなる……ッ！

もうすぐ目的地だ

到着までにあと一度でもイッたら……お前は完全に私のものだ  
絶頂と共に……ッお前をあの世に連れていく  
耐えられないなら……ッ、ハアッ……  
恋人を見捨てて今すぐここから逃げ出せよ

ホラ……ホラ……ッ＝

ダメだ、もう……ッ、私も果ててしまいそうだ

お前の方も限界だろう？ そのまま全てを私に任せて

イケ……ッ 私と共にすべてを解き放て

イク……ッ、イクぞ……ッ！

快感と共に……魂全てを私に明け渡せ……ッ＝

私の全てをお前の中に注ぎ込んでやる……ッ

※発射

大丈夫だから、私を信じろ。このまま、意識も体も私に預けて……  
目覚めた時には、全てが終わっているから……そう、全てが……

(勇千)

気が付いた？ あー良かった……

酷い脳貧血だったなんて、俺が傍にいたのに気づけなくてゴメン！  
突然倒れたから、怪我が無くてホントに良かった

でも聞いて。1つ良い知らせがあるんだ

実はこの電車を狙って犯罪予告してた奴がいて

次の駅で犯行直前に捕まったんだって

べびちゃんの救護で発車が遅れたお陰らしい

危なく大事故になるところだった

べびちゃんのお陰で、皆の命が救われたんだよ……！

## 6、隠された真実 ゴーストの最期のキス

(一徹)

これは……なんだ？ 私に、お礼の供物<sup>くもつ</sup>？

西洋の甘味か？

うまい……！

ん？何だ 何がそんなにおかしい？ 私は100年前からずっと甘味が大好きだぞ

これは何という菓子なんだ？ 覚えておくとしよう

……『バズリスイーツ』。まりとつつお？ ふうん、随分ヘンテコな名だ

口元にクリーム？ 拭いてくれるのか？

フツッ、お前はつくつく……申斐甲斐しい奴だなあ

自分にとりついた亡霊相手にまで、そんな事……

……ッ！

すまない。今だけ……少しだけ……抱きしめさせてくれないか

ん？ 一緒におやつ食べるからお膝に抱っこの方がいい？ ハハハッ、分かった……よいしょと

上に乗るのは得意なんだがな……こうして女を膝に抱くのは百年ぶりだ

私もかつて、命を奪われてもいいと思う程、人を愛した事があった

この人が私を騙すのなら、潔く騙されて死のう、と……そう思う程の愛だった  
ふっ……

私はな。生涯をかけて愛した人に、騙されて殺されたんだ

その人を幸せにしようと、未来を描いて必死に築いたはずの財産目当てにな  
今の私は、人を取り殺さなければ存在する事もできない

無様な悪魔になり下がった

お前もすぐに殺してしまおうと思ったが……焦がれた  
何を考えてそんな顔をするのか



毎夜、悲しげな顔でオルゴールと私の写真を眺める貴女を見て……  
話したい、触れたい。そう思った

わっ……、ど、どうした急に……ッ抱き着いて  
ふっ、お前はまだ……こんな私を抱きしめてくれるのか

……ッ！

……羨ましかった。命を差し出してまで貴女に愛されているあの小僧が

貴女を取り殺すことなどできない

例え自分がこの世から消えてしまふ事になろうとも

貴女は、この無様な悪魔を闇から引きずり出し

復讐すらもできない腰抜け幽霊に変えたんだよ

貴女の愛すら利用して、貴女に触れたいと願った私を許してくれ……

今日が、私のこの世での最期の日

もう二度と貴女の前には現れまい

だから、最期にもう一度だけ……もう一度だけ貴女を抱かせてくれないか  
全ての終わりに、貴女の記憶だけ持つて……

静かに消えていきたい

貴女の温かな肌に、もう一度だけ触れさせてくれ

この柔らかい肌……しっとり吸い付く乳房も

何もかも私を狂わせた

私に敏感に反応する乳首も……こうして優しく……

ふっ、気持ち、イイ？

反対側も……

下も……触れさせて

こうして……敏感な突起に触れる度

貴女が……私の指の動きにピクピク反応してくれるのが愛おしくてしょうがない

どんな風にされるのが一番好き？

こうしてクリを包む皮膚ごとクチュクチュするのがいい？

それとも……優しく剥いて摘まむように可愛がるのと……

こうして転がすようにクリクリ刺激するの……

ふふっ、可愛い

もっと気持ち良くなつて

中に……指を入れるよ？

ハアッ……キュッて中が動いた……ハアッ、大丈夫、そのままいっぱい感じてて

しよせん私は幻……この交わりが終わったら

貴女方2人から私に関する一切の記憶を消し去って、私も消えよう

だから……何もかも忘れて、快感に身を任せて

ん？どうした

記憶を消したりしないで？

フツ、貴女は全く……。ダメだ。私の事など早く忘れた方が良い

この唇で……もう二度と呼んでももらえないと思うと

私だって、もう一度死んでしまいそうな程寂しいが

貴女は真実の愛を知っている人だ。彼の為にも、私の事は忘れて欲しい

フツ、嫌と言われてもダメだ。ダメなんだよ

貴女と体を繋いだのは、より深い所で繋がって

貴女の命を確実に守り切る為だった

こんなやり方しか知らない悪魔で……すまない

ん、どうした。あつ、……んんッ、ちょ、待て

ハアッ……、今そんな所を握られたら……我慢できなくなりそうだから……ッ

はあ……ッ。どうせ忘れてしまつたら、私にも気持ち良くなって欲しい？

……んんッ、ダメだ、そんな事なくていい

ハアッ……貴女の手で擦られてると思うだけで……

歯止めが効かなくなりそうなんだ

は、あ……ッえ、

あつ、乳首、まで、そんな……ッ吸い付かれたら……ッ

はあ……ッ、ああッ！

こんな事されたら……ッはあ……ッ貴女がもっと欲しくなってしまうから

あ、ダメだ。そこ……ッ、口でなんか……ッ

頼む……ッこのままじゃ、本当に理性が、飛んでいき、そう……ッ

「こういう事は……ッ、ハアッ、愛する人の為にとっておきなさい。……ッあッ  
今まで散々してきたくせに……ッ、んッ、ハアッ……」

確かにそう、だが……ッ、こんなの……ッ反則

頼む、もう……我慢できない。「このまま口の中で爆発してしまいそうだ

最期に……もう一度貴女と繋がりたい

「こうして抱き合いながら……」

貴女の中で果てさせて……

行くよ。ん……ッハア……んんッ

先を当てただけで………とんどん飲み込まれてく………はあ……ッ

貴女に許されながら一つになれるなんて……

ハアッ……貴女の元を離れたくない……

奥まで付くと

中がキューキュー締め付けてくる

体の奥まで……私のモノで埋め尽くしたい

はあ……ッ私の形を、貴女の体に覚えこませたい

「こうやって……」

どんなに貴女の体に私の印を残しても……

無意味な事だと分かっているのに……

どうか許して

気持ちいい？

私に喘ぐ貴女の顔………本当に可愛くて………愛おしい

「こうしてプレスしながら突くと」

ビクビク腰が跳ねて………ッ歯止めが効かなくなる………ッ

今まで貴女を傷つけた事……許されるとは思っていない  
全てはこの悪魔が起こした事

貴女は何も悪くなかった

ただひたすら彼を愛しただけ

だからどうか……自分を責めないで

貴女の優しさを最期まで利用する卑しい私を……どうか、許して

あ……ハアツ、ダメだ、もう、イキそ……

はあ……ッん、ハアツ……、こつちを向いて、私を見て

死して尚、人を愛することがあるとは

私は、貴女を……愛していた。ん……

貴女を置いて逝く事がこれほどの無念とは………んっハアツ……ッ

貴女との時間は、まるで生きているかのようだった………はあ……ッ

嫉妬 情熱 欲望 愛情………地獄への土産にふさわしい………んっ！

貴女の中で果てながら………静かに消えていきたい

貴女も………一緒にイッて……

愛、してる………！

※発射

私に与えられた最期の罰が………貴女を愛する事だったとは………

最高に幸せな天罰だ

さようなら………愛しい人

## 7、エピソード

(勇千)　ぎゃー……、ベビちゃんなんか、来た！後ろ！

廃墟のはずなのに、ひ、ひひ、ひひ人の声！！

わあ！で、で、出た！また、お化け！！

助けて！ぬわあああ

ベビちゃんも、早く！　ボーっとしないでこっち来てよ！

(一徹)　はぁ……。うらめしや

ハッハハ！何だぎよつとした顔をして。

向こうに現れた幽霊は全く相手にしていないのに。

私の顔はそんなに恐ろしいか？

(勇千)　やだやだ！ベビちゃん！　へっ！何でその人——どつかで見た事ある幽霊が……ッ

ってぬわああ！あっちもこっちも幽霊だらけじゃん！しかも一人は知り合い！

(一徹)　ふう。あの小僧は相変わらずだな。懲りずにお前を廃墟に引っ張り回して

お陰様で、何だか知らないが、お前の守護霊を命じられた

私だって断れるものなら断りたかったが、知らない内にそういう事になった

またこの阿呆コンビに付き合わなければならいなんて、嘆かわしい

(勇千)　うわあああ——まだお化けが追いかけてくる！ちよつと！助けてよ！

(一徹)　あの阿呆という限りこういう目に遭い続けるぞ

それでもあの能天気小僧がいいのか？

ふう……。そうだな、忘れていた。お前も大概な阿呆だったな

まあいい、私としては、これで……

お前に会いにくる口実がたくさん出来る訳だ

まあ、こんな阿呆カッパルにタダ働きするのは理に合わない

アイツがこんな遊びをしている限りは………守護の代償を

お前に体で支払ってもらおうかな？

(勇千)　そのっ！ベビちゃんじゃべつてる「知り合い幽霊」の主人！

お願いしますー！くっちゃべってないで早く助けてー！幽霊仲間なんですよー！！

あ、そうだー！あとですねーもうべびちゃんに手出そうとしないでくださいよあの後、僕もちゃんと、話、聞いたんですからねッ！

後でちゃんと話し合いまーッうわああー後ろにもう一匹いるっ！！

(一徹) はあ……。先帰ろうか

私も久々の下界で腹が減ったぞ。この間のアレ、またお供えしてくれなんて言ったかな、あの……「バズリスイーツ」というやつ

ん？ 何だ。あれは菓子の名ではないのか？

(勇千) ねえ、べびちゃんー！！主人ー？何べちゃくちゃ談笑してんの？ねえ、ねえってば！！

(一徹) おい小僧、先車戻ってるぞ

(勇千) ひっ酷いよ、なんでー！どっいう事！！  
べびちゃんー！！笑ってる場合じゃーぬああわあー！！

(一徹) ハハハッ！小僧はちょっと懲らしめてやらないとな

さて、久々の再会だ。あいつが戻って来るまで詳しく聞かせてくれ

その「バズリスイーツ」とやらの事を。天国の皆へ土産に持っていきたいんだ

(勇千) べびちゃんーん、置いてかないでよおお！！

(一徹) ハハハハッ！やつとそいつら巻いてこい 本当に置いてくぞー

(勇千) もうーちよつとーおじさんー置いてかないでっばああ！！

(一徹) おじさんって言ったからもう絶対に置いていく

(勇千) もおおおお鬼ー！悪魔ー！悪霊ー！怨霊ー

(一徹) ハイ怒った発車します

(勇千) ごめんなさいー！神様ー！仏様ー！超絶天使なお兄さんー！！！！！！